

資料 評価規準表（第2学年 前期）

	通知表の文言	具体的な評価規準
国語 2年生	日常生活に必要な言葉のきまり、使い方などを理解する。漢字を正しく書くことができる。	【話す・聞く】 ・声の大きさや話の順序に気を付けて、相手に伝わるように話すことができる。 ・大事なことをおさえながら、興味をもって話を聞くことができる。 【読むこと】 ・場面の様子や登場人物行動などを想像しながら読むことができる。 ・写真と結びつけながら、説明されていることがらを正しく読み取ることができる。 ・語のまとまりや言葉の響きに気を付けて、音読することができる。 【書くこと】 ・筆順や字形に気を付けて正しく書くことができる。 ・清音、濁音、半濁音、長音、拗音、拗長音を正しく表記することができる。 ・助詞「は・を・へ」、「」（かぎ）を正しく使うことができる。 ・文の中における主語と述語の関係に気付いて、文章を書くことができる。
	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、思いや考えをもっている。	【話す・聞く】 ・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや話す速さなどを工夫して話している。 ・集中して話を聞き、話の内容を捉えて、感想や気付きをもっている。 【読むこと】 ・場面の様子や登場人物の行動を具体的に想像しながら、読んでいる。 ・時間的な順序や、説明されている事柄の順序を考え内容の大体を捉えている。 【書くこと】 ・語と語や文と文のつながりを考えながら、自分の思いや考えをまとめている。
	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	・楽しんで、読書をする。 ・自分が調べたい内容を図書の本から選び、その資料を用いて書こうとしている。 ・自分の経験から、言葉について様々なイメージを膨らませて、伝えようとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
算数 2年生	数や計算のしかた、形のきまり、量の単位などが分かり、その計算や測定ができる。	・データを表やグラフに表したり、読み取ったりすることができる。 ・時刻と時間の違いが分かり、午前・午後を使って時刻を表したり、必要な時間を求めたりすることができる。 ・1000までの数を数字で書いたり、数字で書かれた数を読んだりするなど、1000までの数の構成や大小を理解する。 ・ものさしを使って、物の長さを測ったり、長さの計算をしたりすることができる。 ・LやdL、mLを用いてかさを表すことができ、簡単なかさの加減の計算ができる。 ・たし算とひき算を筆算に表し、くり上がりやくり下がりのある筆算をすることができる。
	数や計算のしかた、形のきまり、量の単位などを表現したり考えたりすることができる。	・計算の仕方や数の表し方を、既習事項を使って考えている。 ・身の回りの事象を表やグラフを用いて分かりやすくまとめたり、問題解決のために適切に読み取ったりして、説明することができる。
	数量や図形に進んで関わり、算数で学んだことのよさに気づき、進んで学習に取り組んでいる。	・日常生活の中で、時刻と時間を使い分けようとしている。 ・身近な事柄を調べ、表やグラフに表すよさに気づき、それらを活用しようとしている。 ・ものの個数を数えたり、書き表したりしようとしている。 ・普遍単位を用いることのよさに気づき、身の回りのものの量の大きさを表そうとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
生活 2年生	活動や体験から、人・もの・ことの特徴やよさに気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	・ミニトマトの栽培活動を通して、野菜の育て方を知り、野菜も自分たちと同じように生命をもっていること、野菜の生長や変化に気付いている。 ・学校の施設の場所や校内の歩き方などを1年生に分かりやすく紹介している。 ・自分たちの町にはどのような施設や商店があるかを見付け、自分と地域との関わりについて気付いている。
	自分の思いや願いを実現するために、自分自身や自分の生活について考えたり、工夫して表現したりしている。	・ミニトマトの世話や観察を通して、その生長や変化の様子を知り、生長の喜びや気付いたことを自分なりの方法で表現している。 ・学校施設の位置や校内の歩き方などについて1年生に教えたいことを考えている。 ・自分たちの町にある施設や商店を見つけその良さを友達に伝えようとしている。
	思いや願いをもって社会や自然に働きかけ、意欲的に学んだり、生活を豊かにしたりしようとしている。	・ミニトマトの栽培活動を通して、収穫を楽しみに、野菜の生長に応じた世話を工夫して育てようとしている。 ・学校施設の使い方やマナーを1年生に伝え、自分たちもそれらを守って楽しく遊んだり生活したりしようとしている。 ・自分の通学路や友達の通学路に関心をもち、自分たちの町の自然やそこに暮らす人々に愛着をもって調べようとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
音楽 2年生	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づき、音楽表現を楽しむために必要な技能を見に付け音楽表現できる。	・曲想と音の強さや速さとの関わりについて気付いている。 ・拍に合わせて体のいろいろなところを使ってリズム打ちができる。 ・音の長さを理解しリズム譜を見てリズム打ちができる。 ・鍵盤ハーモニカの基本的な奏法と指使いを理解し指を動かすことができる。
	音楽表現に対する思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見つけながら、音楽を味わって聴いたりしている。	・それぞれの曲の速さや強弱の違いに気づき、感じ取ったことを言葉や体で表現している。 ・言葉を使ってリズムをつくる楽しさを感じ取りながら、音の長さとの関わりに気づき、拍にのって手拍子を打とうとしている。
	友達と音楽表現をする楽しさを感じながら、表現したり音楽を聴いたりし、身の回りの音や音楽に親しもうとする。	・友達と、リズムに合わせて体を動かしたり、よびかけこの歌を交互に歌ったりする活動に主体的に取り組もうとしている。 ・曲の速さや音の強さの違いを聴き取る学習に主体的に取り組んでいる。 ・リズム打ちの楽しさに触れ、自らもいろいろな種類のリズムを手拍子しようとしている。

	通知表の文言	具体的な評価規準
図画 工作 2年生	形や色などのよさに気付き、自分らしくつくり、表し方を工夫することができる。	・絵の具の塗り心地を楽しみながら、形や色、筆の使い方など工夫して表現することができる。 ・はさみやのり、テープなどの扱いに十分に慣れ、表現したいことに合わせて適切に用いることができる。 ・クレパスで、色の重なりやぼかした表現のよさや面白さに気付き、手を十分に働かせて表現することができる。 ・粘土を丸める、のばす、つまむなど、手の感覚などを働かせながら、工夫して作っている。
	つくりたいことを思い付き、どのように表すか考え、見方や感じ方を広げて楽しく活動している。	・感じたことや想像したことを基に表したいものを見付け、どのように表すかを考えている。 ・形や色を基に、自分なりのイメージをふくらませながら活動している。 ・粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思い付き、どのように表現するか考えている。 ・友達の作品に関心をもち、工夫しているところや表し方の面白さに気が付いて、友達に伝えている。
	つくったり、見たり感じたりする楽しさを味わい、活動に取り組んでいる。	・絵を描くことや、素材の特徴を生かして作る活動に関心をもち、楽しく取り組んでいる。 ・友達の作品に興味をもち、発想の楽しさや良さを感じ取っている。
	通知表の文言	具体的な評価規準
体育 2年生	運動遊びやゲームの行い方について理解し、楽しく行うための基本的な動きを身に付けている。	・姿勢、速さ、方向などを変えて走ったり、リズムに合わせて踊ったりすることができる。 ・水につかって歩いたり走ったりすることができる。 ・息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすることができる。 ・鬼遊びでは、一定の区域で、逃げたり、追いかけたり、陣地を取り合ったりできる。
	運動遊びやゲームの行い方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。	・かけっこやダンスで、友達のよいところに気付いたり、考えたことを試したりしている。 ・場や器具に応じて、自分の力にあった運動遊びをしている。
	安全に気を付けて、すすんで運動遊びに取り組もうとしている。	・順番やきまりを守り、安全に気を付けて運動遊びをしようとしている。 ・様々な運動遊びに関心をもち、進んで取り組もうとしている。